

## 関東地区大会 山梨大会 「自立～たくましく、しなやかに～」

第62回関東地区高等学校PTA連合会大会山梨大会は、関東7県から約3,000名の参加者を得て、7月8日（金）・9日（土）の2日間にわたり山梨県甲府市を中心に開催されました。

前日7日（木）に開催された関東地区高P連総会では、各議案が承認され、神奈川県立高P連の大石幸和会長が新たに関東地区高P連会長に就任し、次期大会開催県は神奈川県になりました。

大会一日目の全体会・開会式では、上野和也関東地区高P連会長と佐野元彦全国高P連会長の挨拶に続き、関東地区高P連の活動に功労のあった個人・団体に表彰状と感謝状が贈呈されました。その後、ご来賓の後藤 斎 山梨県知事、守屋 守 山梨県教育長、工藤眞幸 甲府市副市長、坂本明大 山梨県高等学校長協会会長よりご祝辞をいただきました。

続いて、大会宣言文が原案どおり採択され、次期開催県発表・代表挨拶、参加者代表挨拶を経て開会行事を終了しました。

記念講演では、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞した北里大学特別荣誉教授・日本学士院会員の大村 智 先生が「私の半生を振り返って」と題して講演をされました。

自身の生い立ちから、影響を受けた恩師のこと、スキーに明け暮れた学生時代、研究に対する心構え、ノーベル賞受賞のきっかけとなった寄生虫による風土病の治療薬イベルメクチン開発のことなどを時にはユーモアを交え、分かり易くお話しいただきました。



二日目の分科会では、第1分科会において栃木県立高根沢高等学校と茨城県立下妻第一高等学校、第2分科会では神奈川県立座間高等学校と山梨県立市川高等学校、第3分科会は千葉県立大原高等学校と茨城県立竜ヶ崎第二高等学校、第4分科会においては埼玉県立越谷南高等学校と群馬県立渋川女子高等学校のそれぞれ2校ずつが事例発表を行い、活発な質疑応答が交わされました。第5分科会は、「特別支援教育とPTA」をテーマに独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の藤本裕人先生の講演



と情報交換会が行われ、熱心な意見交換がなされました。

分科会閉会后、各分科会場において大会閉会式を行い、2日間にわたる関東地区高P連山梨大会を閉幕いたしました。